

ORICNEWS 翔飛 ひしょう

No.11 (2006.1)

www.sc-c.co.jp

日本初！遮断率99.9% 迷惑メール遮断

① 認証されてない送信者が送ったメールをただ 1回の確認(認証)メールを通じて認証完了の時受信者に伝達する機能

メール送信者

メール受信者

Spam! 遮断Solution

- 1 段階：送信者が受信者に初めてメール発送
- 2 段階：ゲートウェイで送信者に確認(使用者認証)メール発送
- 3 段階：送信者が確認メールの案内に従って使用者確認手続き遂行
- 4 段階：確認完了の後、ゲートウェイで待機中のメールを受信者に発送
- 5 段階：ただ 1 回の確認が完了した送信者は以後確認過程なしにメール送信可能

純MAIL 99.9% ANTI-SPAM Solution

No More Spam mail Anti Spam Solution

Anti Spam

Sysco Communications 株式会社シスココミュニケーションズ

目次

巻頭言	2
研修・交流会活動	2～5
入居者の活動・トピックス	6～7
新入居者のご紹介	8
INFORMATION・入居案内	8

自立と協働で岡山元気づくり



岡山県知事 石井 正弘

新年あけましておめでとうございます。

昨年開催されました「晴れの国おかやま国体・輝いて！おかやま大会」は、岡山らしい魅力と感動にあふれた大会として、大成功のうちに幕を閉じました。ご尽力いただいたすべての皆様に心からお礼申し上げます。「晴れの国おかやま国体」では、悲願の天皇杯・皇后杯の栄誉に輝き、皆様と喜びを分かち合うことができ、「輝いて！おかやま大会」では、自分の可能性を信じ競技に挑む選手の姿が、大きな感動を与えてくれました。選手・監督や大会役員、運営やおもてなしなどのボランティア、民泊協会の方々、ご声援とご協力をいただいた県民の皆様一人ひとりが輝き、「195万人のスクラム」で、夢と感動が大きな実を結んだ素晴らしい大会となりました。両大会に結集した「県民力」、「人の和」は、必ずや、きらりと輝く「快適生活県おかやま」の実現に向けて、大きな力になってくれるものと信じています。

現在、県では、「新世紀おかやま夢づくりプラン」に基づき、「快適生活県おかやま」の実現に向けて、総力を挙げて取り組んでおりますが、中でも、「活力ある産業の創造と雇用の確保」

を第1の柱として掲げており、この実現のため、バイオ、超精密、医療・福祉・健康、環境、IT、物流の6分野を産業振興の重点分野と位置づけ、産学官連携やベンチャー育成、企業誘致などあらゆる施策を集中して産業クラスターの形成に努めるとともに、「岡山県雇用創出計画」による新たな雇用の場の創出や就業機会の確保に全力を挙げてまいります。

こうした中、岡山リサーチパークインキュベーションセンター（ORIC）は、設立から2年9ヶ月を経過し、既に、研究開発を終了し、ORICを卒業して県内に拠点を設けた企業も生まれるなど、次々に企業が孵化しております。

また、現在入居中の企業につきましても、高度な技術力や将来性により注目を集めている企業や、開発が順調に進み、雇用が増えている企業が育っており、今後とも、ORICで開発された新製品や新技術、新サービスが全国に羽ばたいて行くことを期待しております。

皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

研修・交流会活動

■ 10月度ORIC交流会・セミナー

入居企業紹介 ㈱山田養蜂場

同社の歴史は、1948年に山田養蜂場として蜜蜂の飼育からスタートしています。その後、研究と開発を繰り返して、'60年の独自技術でロー

ヤルゼリーの大量生産の成功をはじめ、蜂蜜の分野で様々な技術や商品を生みだしてきた。販売においても早くから通信販売やダイレクトテレマーケティングシステムの導入を図るなどの

取組みを行うことで事業が発展しています。現在は養蜂産品である蜂蜜・ローヤルゼリー・プロポリスの製造販売に加え健康食品・化粧品の製造販売を行っています。当センターには現在の主力製品に次ぐ、新たな健康食品素材の開発を目的として、'05年7月に入居し、近隣の大学・研究室とのコラボレーションを図りながら、研究活動を行っています。

ゲスト企業・機関紹介 岡山県商工会議所 中小企業振興部

岡山商工会議所中小企業振興部長の高木広輝氏と課長の須々木敏彦氏から商工会議所の「会員向け特別融資制度」及び「シニアアドバイザーセンター」について紹介をして頂いた。「会員向け特別融資制度」は岡山商工会議所の会員に限定した制度ですが、中国銀行、トマト銀行、おかやま信用金庫と提携して、①担保が原則不要、金融機関によっては第三者保証人不要、②スピーディな審査（金融機関によっては審査期間は原則1日）や③金利の優遇、事務手数料不要、などのメリットがあることや、また、「シニアアドバイザーセンター」は会員、非会員に拘らず、創業に際しての事業計画作成、資金調達方法などの創業相談や経営革新計画の承認を目指す企業等の相談に対してシニアアドバイザーや各分野の専門家が無料で対応する制度を有していることについて説明された。これら商工

会議所の支援制度も有効に活用することが必要と感じた機関紹介でした。

OIAセミナー 「企業家が今やるべき個人情報保護法について」

O I A（岡山インキュベータ協議会）のセミナーとして実施された10月度のセミナーは「起業者が今やるべき個人情報保護法対応について」というテーマでO R I C入居企業(株)ザインの手銭社長より講演が行われました。身近にある個人情報漏洩事件を例に挙げながら漏洩事件が生じた場合の被害額が非常に大きいこと、また、その漏洩事件の70～80%が人的要因に基づき発生していることから、情報管理に対する教育の徹底の重要性について注意喚起された後、「個人情報保護法」の概要の説明がなされました。その中で「何が個人情報に該当し、何が該当しないのか」の事例や「個人情報取扱事業者に該当する者、しない者の違い」「個人情報取扱事業者の守るべき義務」等について詳細で、解かり易い説明が行われました。その後、個人情報の保護に関する体制が整備できていることを認定する「プライバシーマーク制度」や個人情報に留まらず、企業における情報すべてについて、情報セキュリティを管理し、リスク回避や軽減ができるマネジメントが構築していることを認証する情報セキュリティマネジメントシステム（I SMS）の紹介がなされました。

■ 11月度ORIC交流会・セミナー

入居企業紹介 SINCERRIOR(株)

SINCERRIOR(シンセリア)社は、昨年初め設立された会社です。同社の事業分野は、ネットワークを通じてパソコンの設定・診断を行う「ネットワーク用ソフトウェアの企画・開発」や「サポートに関連した米国製ソフトウェアの日本語化等のカスタマイズ」等が事業の主体です。これらのサポートは広範囲にわたり、例えば、「Windows」OS(Operation System: 基本ソフトウェア)では、古いOS「Windows95」から最も新しいOS「Vista(Beta版)」までをサポートされる予定です。こうしたサポート市場は、新規のOSに対するサポートは当然のことながら拡大していくのですが、市場で実際に使用されているパソコンの内、新しいOSに換えず旧OSのまま使っているケースもかなり多いことから、こうし

た旧OSのサポート市場もかなりの規模で残っています。このことは特に、旧OSのパソコンを使用している事業者や消費者から、歓迎されると考えられます。また、ご本人はORIC入居以前から精力的に営業活動をなされ、かなり大手の企業からの引き合いと受注があり、既にビジネスの確保・構築が始まりつつあります。

ゲスト企業・機関紹介 岡山理科大学 学外連携室

岡山理科大学・学外連携室・助教授猶原順氏が、「第5回岡山理科大O U Sフォーラム2005(11月25日、岡山プラザホテル)」を前にして、同大学の産学官連携に関して説明をされました。同大学の強みは、同大学だけでなく、兄弟校として、倉敷芸術科学大学、吉備国際大学、九州

保健福祉大学との連携も含めた広域産学官連携であることです。従来、大学の目的は「教育」と「研究」でしたが、昨今の、社会からの産学官連携や、研究成果の地域に還元するなどの「地域産業への貢献」も大きな使命となっており、積極的な産学官連携を実施しているとのことでした。その推進窓口として、同氏が所属する学外連携推進室についても説明されました。「技術的に困ったこと、こんな夢を叶えたいなど、産業や市民活動や教育活動に関して、岡山理科大学が持つ多くの知的財産を提供する」ために、大学から外に開かれた相談窓口で、研究依頼・相談等を気軽に問合せ出来るとのことでした。

ORICセミナー

「今、企業人に求められるプレゼン能力とは？」

岡山理科大学工学部助教授小田中章浩氏から標記テーマを以下の流れでお話を頂きました。
①技術者に必要なプレゼンテーションの技法、
②学外講座の事例から、③プレゼンテーションに必要なスキル④日本の社会に必要なディベート（議論）の方法。①については、一般的に技

術者は自分の考え、成果や商品を正しく伝える事が苦手で、そのため、プレゼンテーション力不足によりビジネスチャンスを逃す場合が多々あることなどの課題が挙げられ、②小田中助教授が社会人を募って担当された同大学講座の中からその事例をビデオで見ながら分かり易く批評を行われました。③については、聴衆を見ながら話す事、「間」の取り方や、話すスピードが重要でありこれらの項目を意識して実行する事によりプレゼンテーションのスキルアップが可能となる、とのお話でした。セミナーの途中では聴衆の中から数名が指名され、それぞれが本セミナーに参加した動機などを自己紹介を交えてプレゼンし、セミナーを聞くだけでなく、実際に実行してその難しさを体験しました。また、ディベートに必要な技法について「仕切り技」、「つなぎ技」の紹介があり、これらを駆使する事により議論する力が上達するとの事。まとめでは、今の社会では以心伝心でなく全てを言葉によって明確に表現すべき事が必要であると締め括られました。

■ 12 月 度 O R I C 交 流 会 ・ セ ミ ナ ー

入居企業紹介 (株)エイ・エス・エイ

建設業や公共事業の世界市場への開放に伴い、「電子納品（C A L / E C）」が義務付けられ、従来の紙の図面等による納入から、電子図面による納品が求められ、国土交通省から、2010 年までに地方での電子図面納品の展開が義務付けられています。同社の事業に関連する工事完成図書に関しても電子納品が義務付けられ、このことが、同社が今回、事業化する「C A D データのテンプレート化」が生まれる背景となっています。

従来から、工事・設備等の納入の際には、詳細図面が必要でしたが、これらを電子図面化して納入する場合は、今日ではC A D (Computer Aided Design) としてコンピュータ処理したものを納入しています。しかしながら、このC A D 化に当たっては、相当専門的な知識や長年の実務経験がないと作成が難しく、中小／零細企業にとっては対応に苦労されているのが実情でした。そこでC A D データをテンプレート化することで、中小／零細企業のC A D 対応にとって大変有益なツールを提供できるようになって

います。例えばこれを利用すれば、テンプレートをベースに多少のカスタマイズでC A D 図面が作成出来、作成にかかる時間が大幅に短縮できる、大幅な労務削減に繋がる、これらに伴い大幅なコストダウンが実現し、残業や深夜作業等を減少させ作業効率や作業環境の改善等も図れることとなります。

ゲスト企業・機関紹介

雇用・能力開発機構 岡山センター

雇用能力開発機構岡山センター調査役水島正博氏より標記制度の概要について説明頂きました。基盤となる人材（営業部門のリーダー、高度な技術者、専門知識を有する人材）を雇い入れると賃金の1 年分について一定額（一人当たり一年間で140 万円、一般労働者については一人当たり一年間で30 万円）が助成されるというものです。本制度は創業時以外でも、既存企業が異業種進出の場合には活用できるので、第二創業を目指される企業は同機構に相談して欲しい旨お話がありました。

ゲスト企業・機関紹介 岡山県中小企業家同友会

岡山県中小企業家同友会岡山支部長松尾正男氏（ダイヤ工業株式会社代表取締役）、同会事務局長の磨田俊司氏より昨年、設立20周年を迎えた岡山県中小企業家同友会のご紹介と入会勸奨のお話がありました。

同会の活動例の紹介として「どんな企業を目指すのか」という経営理念や経営指針の作成、実践について会員の実例や専門家の指導を合わせて行う事、また人材育成を企業の重要課題として「教育」ではなく「共育」という視点で経営者も従業員と共に学び労使の信頼関係を確立する事などをグループで実施しているなどを挙げられ、経営者として研鑽する上で非常に有益であったことがなどを松尾氏の体験談も交えながらご説明頂きました。

ORICセミナー 「国民生活金融公庫の融資制度について」

国民生活金融公庫岡山支店融資課長中嶋祐司氏より同公庫の融資制度について「公庫利用の手引き」「中小企業の皆様へ融資のご案内」等のパンフレットに基づき「同公庫の利用対象者は？どのような資金が融資の対象になるか？保証人は必要か？無担保・無保証人の融資制度はどのような制度か？公庫の金利はどのようなになっているか？借入れ返済方法はどのようなになっているか？」等についてQ&A方式で丁寧な説明がありました。終わりに政府系金融機関統合問題についても触れられ2010年度に同庫も統合対象になっているが、統合後も基本的には現行の同庫融資制度は一部を除き継続される予定である旨お話がありました。

■ IT研究会 再開

昨年6月の開催を最後に休会していた「IT研究会」を再開（昨年12月15日実施）致しました。今回は開発ツールに関する勉強会で、テーマは「xampp上でのPHPとPRADOプログラミング入門（xampp：オープンソースのWEBプログラムをパッケージングしたソフト、PHP：スクリプト言語（ソースを解釈するプログラムを必要とする言語）、PRADO（PHP Rapid Application Development Object-oriented）：PHPによってすばやくアプリケーションを開発するオブジェクト指向）」という、最近の開発の潮流であるWEBプログラミングを選びました。講師は入居企業のアナハイムエンジニアリング㈱の服部励起氏にお願いしました。服部氏の丁寧な説明と分かり易さで、参加者10名全員が、Q&Aを含めて約2時間釘付けになるほど充実した研究会でした。参加者のコメントは、説明内容も丁度良く、今後続けて欲しい等でした。次回は2月を予定し

ています。この「IT研究会」はIT関連技術の交流・マッチングの場とし、ここから、協業による相互の事業強化や個々の企業単独では対応できないより大きなビジネスの創出に繋がることを期待しています。



IT研究会の様子

■ 自治体国際化協会の視察（ロンドン事務所管内参加者のORIC訪問）

11月25日、イギリス各地からの自治体の幹部12名の訪問が有り、センター長松尾から岡山県のPFI事業で設置されたORICの説明を行いました。イギリスがPFI活用による社会資本整備の本家であることや、インキュベーションによる地域活性化の成功事例として知られて

いるアストンパークからの参加者もいたことから非常に活発な質問が寄せられました。IT系に比べ、ものづくり系企業での創業が少ないこと、IT系企業の大学知財活用が進んでいないことやPFI事業の使命など、日英共通の課題が多く有意義な交流でした。

入居者の活動・トピックス

■（財）岡山県産業振興財団・PFI岡山インキュベート(株)と

韓国技術ベンチャー財団が業務提携



去る平成17年12月7日、韓国ソウルにて韓国の政府組織である科学技術部の中にある14研究所の一つである韓国科学技術研究院において、その傘下で研究院の技術成果の実用化を図り、韓国の中小・ベンチャー企業の活性化、育成等のために、創業支援や経営支援を行うことを目的として設置された韓国技術ベンチャー財団と（財）岡山県産業振興財団およびPFI岡山インキュベート（株）（岡山リサーチパークインキュベーションセンター）の三者が、業務提携に関する基本協定の調印式を行いました。

業務提携のきっかけとなったのは、当ORIC入居企業シスコ・コミュニケーションズ（川西博仁社長）が韓国技術ベンチャー財団の運営するインキュベーション施設に入居するヌリビジョン社の「迷惑メール遮断システム」について日本国内での開発作業や販売・保守などを一手に引き受ける「ゴールドパートナー契約」を締結する事に端を発したものです。

今回の業務提携の目的は「双方の財団及びインキュベーションセンターの交流を通じて、双方の技術集約型企業の創業、育成及び発展を促進し、双方の中小・ベンチャー産業の活性化と産業振興及び経済発展」にあります。

上記の目的を達成するための施策として、以下の事項について、業務提携及び協力する事としています。

- (1) インキュベータ入居企業の入居した国における中小・ベンチャー企業相互間の技術提携、投資、パートナー探し等、協力可能な分野での各種サポート。
- (2) 相手国での業務展開を希望する中小・ベンチャー企業のサポートと、双方のインキュベータへの相手国中小・ベンチャー企業の入居に対するサポート。
- (3) 双方の中小・ベンチャー企業の支援に関する情報交換。

(4) 双方のインキュベータの活動に関する情報交換。

(5) その他前条の目的を達成するために必要な業務。

具体的には韓国で開催される展示会、商談会に岡山県企業の技術や製品を紹介する事、また、岡山県で開催するビジネスマッチングやベンチャープラザ等の催しに際し韓国企業の技術・製品を紹介する事等を中心にそれぞれの販路開拓に繋げていく事などが挙げられますが、日韓の優れた技術や商品を活用して、双方の地域の企業の競争力が強化されたり、また、合併等で新しい企業の創出に繋がることを期待しています。



調印式の様子

■「ビジネスマッチング in香川2005」開催

去る平成17年11月1日、2日の二日間高松市のサンメッセ香川大展示場において、香川県、(財)かがわ産業支援財団の主催による展示会「ビジネスマッチング in 香川2005」が盛大に開催され、当ORICからも(株)アスコルバイオ研究所、(有)エイムテクノロジー、(株)VOIPACK JAPAN、(株)ユニバーサルテクノロジーズの4社が参加、各社の新商品、新技術の展示を行いました。これは中小企業が開発した製品、技術、サービスなどの事業化を目指す企業を支援するため製品展示、ビジネスプラン発表、ビジネスマッチングの場を提供し販路開拓、業務提携、資金調達などの実現を促進しようとするものです。今回は、(独)中小企業基盤整備機構主催の「ベンチャープラザ四国2005」及び特許庁、四国経済産業局主催の「特許流通フェア2005 in 四国」も同時開催され、四国最大のビジネスイベントとなりました。

■ 新しいビジネスと新たな出会いがクロスする 「ベンチャープラザちゅうごく in岡山」開催

去る平成17年11月22日(火)にコンベックス岡山においてベンチャー企業のための資金調達、販路開拓、人材確保などの支援の場として「ベンチャープラザちゅうごく in 岡山」が開催されました。今回は初めての試みとして「ベンチャープラザ中国」(主催:(独)中小企業基盤整備機構中国支部)と「ベンチャープラザ岡山」(主催:(財)岡山県産業振興財団)とを統合して開催されました。内容は①記念講演会、②新製品・技術・サービスの展示、③ビジネスプラン発表会、④ベンチャー・ビジネスプランコンテストで支援機関やビジネスパートナーなどを含め約1,700名の来場者で活発な商談会などが行われました。因みに、展示会に中国各地から参加した先は、103社のうちORIC入居企業は以下の6社です。

会社名	展示内容
アロイ工業(株)	WC-CO系超硬ビット
(有)エイムテクノロジー	膜厚測定装置
(株)シスコ・コミュニケーションズ	迷惑メール防止ソリューション
花田技研工業(株)	溶融スラグの着色骨材原料
(株)VOIPACK JAPAN	ワールド携帯IP
(株)ユニバーサルテクノロジーズ	入浴介助用軽量冷房介助支援スーツ

■ 岡山・上海企業交流会

昨年11月30日から12月3日にかけて、県内企業14社が参加した岡山・上海の企業交流会が開催され、ORICから(株)VOIPACK JAPAN及びセンター長松尾が参加しました。この交流会は上海インキュベータ協議会と岡山県及び岡山インキュベータ協議会(岡山県内のインキュベータ機関から構成)の業務提携により、毎年度開催されています。VOIPACK社は前回にも参加し、それを契機にSHNGHAI WITHUB HI-TECH BUSINESS INCUBATORに中国拠点を開設しています。商談会は、県内参加企業の概要や製品を事前に中国側に紹介していたため、30社を越える中国企業が参加して個別のテーブルを囲み、活発な商談が行われていました。また、SHNGHAI WITHUB HI-TECH BUSINESS INCUBATORの銭振英主任より、同センターの活動状況について紹介がありました。このインキュベータは3箇所に合計43,000㎡の敷地を有し、200社以上(うち70%がIT系)の企業を支援しています。戦略的な運営を行い中国でも有力なインキュベータです。また、中国の入居企業との交流会で感心したのは、多くの企業の成長スピードが速く、数名でスタートした企業が2～3年のうちに、数十人、数百人の従業員の企業の育っていることです。今後、この成長の背景について考えていく必要を感じた交流会でした。



展示会場の様子

新入居者（入居内定者）のご紹介

12月20日に第12回入居審査会が開かれ、厳正なる審査の結果、下記1社の入居内定が発表されました。

入居内定企業名 代表者	事業の概要	所在地	分野
(株)エム・アイ 河村 利夫	・画期的な画像データ圧縮ソフトの開発と高精度画像（顔）認識技術を含むセキュリティ認証ソフトの開発等	岡山市	I T

INFORMATION

■ 第10回リサーチパーク研究・展示発表会

【開催日時】 平成18年1月27日（金）

10:00～18:30

【会 場】 テクノサポート岡山（岡山市芳賀5301）

【プログラム】

9:30～ 受付

10:30～10:45 オープニング（大会議室）

11:00～15:00 展示発表セッション

パネル・実物等の前で発表者が説明

15:15～16:45 特別講演会（大会議室）

生活環境からの価値創造

「ななめドラム洗濯乾燥機の商品開発」

松下電器産業株式会社 商品企画グループ

ランドリーチーム参事 藪 ゆき子 氏

16:45～16:55 表彰式（大会議室）

17:00～18:30 交流会（レストラン花水木）

【参加費】 展示・発表会 : 無料

交 流 会 : 2,000円

参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX又はEメールにて下記宛てお申し込みください。

【申込先・お問合せ】

財団法人岡山県産業振興財団 技術支援部

〒701-1221 岡山市芳賀5301 テクノサポート岡山3F

T E L 086-286-9651

F A X 086-286-9676

E - m a i l sgkinfo@optic.or.jp

【ホームページ】

<http://www.optic.or.jp/zaidan/s32/orp2005/orptenjihapyou.htm>

入居者募集中

随時、入居のご相談に応じていますので、ご連絡下さい。（TEL. 086-286-9116）

■施設使用料

施設区分	面 積	部屋数	使用料の月額
研究室 小	約 25㎡	22	45,000円
研究室 大	約 50㎡	30	88,000円
試作開発室	約 100㎡	6	175,000円

- ・入居後3年間は、更に1/2減免の制度もあります。
- ・複数室の利用も可能です。

■募集概要

対象： 情報通信や、ものづくり分野を中心に
新技術・新製品の開発、創業を目指す
個人・グループ・企業。

期間： 3年以内（再申請もできます）。

審査： 入居にあたり、審査があります。

■次回募集

原則として3ヶ月毎に入居者審査会を開催しています。次回は2月末までに事業計画書を提出された方を対象に、3月中に開催の予定です。

（参考）【入居可能研究室】（2005年2月時点の予定）

研究室小（25㎡） : 2室

研究室大（50㎡） : 2室

試作開発室（100㎡） : 3室



ORIC NEWS No. 11 (2006/1)

編 集/岡山リサーチパーク インキュベーションセンター
発行人/松尾 彰

〒701-1221 岡山県岡山市芳賀5303

T E L : 086-286-9116

E-mail : info@oric.ne.jp

F A X : 086-286-9117

U R L : <http://www.oric.ne.jp>